



PTA新聞

第35号

発行 立学校局
山梨県高等学校
甲府昭和高校PTA
印刷 南平印刷社

人生100年時代を生きる

校長 萩原章司

第34期卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。保護者の皆様におかれましてはお子様の

た、教育活動の充実を図るために教職員一同、力を尽くして参ります。

リンダ・グラットン教授は、

「人生100年時代を生きる」という言葉が、

「人生100年時代を生きる」という言葉が、

「人生100年時代を生きる」という言葉が、

長越石様をはじめ、保護者の皆様には、本校の教育活動に御理解と御協力を賜り感謝申し上げます。

先日、校長室の書棚にある昭和61年に創刊された学校だよりを読みました。初代校長の功刀幸丸先生が「創刊によせて」というタイトルで書かれた文書が載っており、物的環境に恵まれる現代社会で心すべきこととして、江戸時代の儒学者である貝原益軒の「子どもを育てるのに、少しく寒く、少しく飢えさせ、少しく嫌なことに立ち何かはせ。」という言葉を引き合いにして記されていました。

「無形資産」が必要になることも述べています。人生で長く活躍するために専門的スキルを高めることが必須であり、さらに70歳まで働くことを想定し、活躍の場を確保することのほか、経験や人的ネットワークなど、目に見えない無形資産をいかに積み重ねていくことが必要です。

「人生100年時代を生きる」という言葉が、

「人生100年時代を生きる」という言葉が、

「人生100年時代を生きる」という言葉が、

「人生100年時代を生きる」という言葉が、

「人生100年時代を生きる」という言葉が、

「人生100年時代を生きる」という言葉が、

「人生100年時代を生きる」という言葉が、

「人生100年時代を生きる」という言葉が、

「人生100年時代を生きる」という言葉が、



一年を振り返って

PTA会長 越石将幸

桜花の候、皆様方におかれましてはご健勝の事とお慶び申し上げます。

日頃よりPTA活動への多大なご理解とご協力を賜りまして、深く感謝申し上げます。

早いもので、息子が入学させていただいてから三年が経ちました。2019年4月よりPTA会長という大役を頂いて、頼りない私をPTA役員の皆様方、他、父兄の皆様方のお陰で無事に行事を執り行うことが出来ました。

特に、萩原校長先生、今福教頭先生、千野先生にご面倒かけてばかりで申し訳ないと思いますが、お別れが名残惜しいばかりです。

生徒の皆さんにおかれましては

なかでも8月に京都で行われた全国高等学校PTA連合会へ校長

と参加した時の日本電産会長兼京都先端科学大学理事長、永守氏の記念講演には魅了されました。

講演は「学校教育・家庭教育に思うこと」と題して行われましたが特に共感したことは「受験勉強は暗記とテクニックを学ぶだけでなく、実社会では役に立たない」という言葉です。

実際に、日本電産でこれまで約7800人の大卒者を採用して、その個々の能力を分析してみると、出身大学の偏差値やブランドなど仕事をするうえで何の関係もないことが分かったそうです。

また、10月には大雨、台風により強歩大会に影響が出て、コース変更を余儀なくされる年でありました。そんな中でもPTAの皆様方の協力により滞りなく成功することが出来ました。

就任当初は重責に耐えられるか心配でしたが、皆様方の支えによって素晴らしい経験が出来たと感謝しています。

おかげさまで素晴らしい仲間と一緒に過ごして、人生の中で大きな一ページだったことを後世に伝えることが私の責務という事を肝に銘じて、最後の感謝のご挨拶に代えてさせて頂きます。

学年部会長より

一年間を振り返って

P T A 副会長 (二学年部会委員長)

望月 紀子

今年度、P T A 役員をさせていただき、様々な活動に参加することが出来ました。特に印象に残っているのが、7月に行われた関東地区高等学校 P T A 連合会大会です。

一日目はアトラクションでした。会場となった埼玉県の高校生による管弦楽の演奏や合唱、またダンス部の作品の発表がありました。迫力のある演奏や発表に圧倒されました。また、P T A によるコーラスもありました。平成3年に結成され、現在90名という会員数の多さには驚きました。長年に渡って、歌を通じた輪が広がっている活動には感心しました。

二日目は分科会でした。私たちは、「学校と P T A 活動の関わり」というテーマの会場に参加し、都留興譲館高校と、神奈川県立山北高校の発表を聞きました。都留興譲館高校は、創立されて6年という新しい高校ですが、P T A 活動について試行錯誤され、「楽しく負担にならないように」という思いで取り組みがされていました。山北高校では、「参加したくなる P T A を目指して」ということで、保護者にアンケートを実施し、活動内容の見直しや P T A の良さを伝えていました。

この様に、今大会で、様々な P T A 活動が行われていることを知り、改めて P T A の必要性について考えることの出来た機会となりました。

学校の活動としては、紫映祭での P T A 出店や強歩大会での旗振り、フードバンク受付などのお手伝いをさせていただきました。保護者の方々や先生方、そして多くの子供たちとふれあうことが出来たのは私にとって楽しい思い出となりました。

P T A 活動でたくさんの方々のご協力をいただいたこと、また貴重な体験をさせていただいたことに感謝いたします。一年間ありがとうございました。

P T A 活動を振り返って

P T A 副会長 (二学年部会委員長)

仲嶋 徹

一年間の P T A 活動のなかで様々な行事を通して子供たちの成長を間近で見ることができ口々に日に大きく、そしてたくましくなっていく姿を、実感することができ大変貴重な経験をさせていただいたと感謝しております。

紫映祭にも参加させていただきました。生徒の皆さんが本当に楽しそうにしている姿が印象的でした。

家庭学習においてはスマートフォンでアプリを使用する学習方法も非常に効率がよく、またスマートフォンがあることで即座に必要な知識が得られるため、今も昔も使う時間の量は同じでも私たちの時代とは違うな……と感じました。

これからの社会は、基礎知識を生かして、その先にあるものを追求できる創造性のある人が求められているのだと思います。

さらなる情報化社会の中、情報機器などが適切に使用され活用できることは素晴らしいことだと感じています。

卒業生の皆さんは、これから様々な道を行く中で、進学、就職とこれまで以上にいろいろな人と出会うと思います。どんな出会いも人として無駄なものはありません。「人」を大切にできるそんな大人になってください。そして、この学校で学んだことを糧に活躍されることを期待しています。

今年度の P T A 活動を振り返って

P T A 副会長 (一学年部会委員長)

笹本 岳裕

息子が甲府昭和高校に入学し、ご縁もあり一年間 P T A 役員を務めさせていただきました。

不慣れた役員のため、迷惑をお掛けすることも多々あったと思いますが、役員の皆様、保護者の皆様、先生方、多くの方々に協力いただき無事終えることができました。

学校行事においては競歩大会で携わることができました。交通指導の旗を振りながら通り過ぎる生徒さんたちに声援を送ると、疲れをみせながらも気持ちよく応えてくれ、とても暖かい気持ちになったのを覚えています。間近で接することで子供たちの成長も分かりやすく感じることで、保護者としての貴重な経験になりました。

また、学校行事を円滑に行うには、生徒や先生方だけでなく、たくさんの方々の協力が必要なことも身をもって経験できました。

P T A 役員ということで責任も今までになく感じ、また、人と助け合う大切さを痛感した一年間でもありました。P T A 活動に関わってくださったすべての方々へ深く感謝致します。本当に一年間お世話になり、ありがとうございました。

P T A 各専門委員会より

P T A 活動を振り返って

進路指導部専門委員長 大堀ゆかり

私は、これまで一保護者として事業に参加することやお手伝いをする中で、P T A の活動に関わってきました。今年度、初めてP T A の役員を務めさせていただき、貴重な経験をする事ができました。

本年度の進路指導部の事業である保護者対象進路講演会が、去る6月5日に、駿台予備校の渡辺慎一先生を講師にお招きして行われました。先生のお話を伺う中で、本年度の受験の厳しさを改めて痛感いたしました。これからの子どもへの関わり方について再度考える糧ともなるとも勉強になるお話が拝聴できました。

P T A の役員を受けたことで、今まで以上に学校や生徒の事に関心を持つようになり、学校へ足を運ぶ機会も増えました。P T A の活動を通じて先生方や他の役員の方とも交流も出来、役員になって良かったと感じています。P T A の役員になると、参加して良かったと思えることが必ずあるので、より多くの方に積極的に参加していただきたいと思います。

三年間学校へ足を運ぶたびに、すれ違う生徒さんが明るく挨拶をしてくれたことをとても気持ちよく感じていました。また、何事にも真摯に取り組む姿を何度も目の当たりしています。甲府昭和高校で経験したことは、今後の人生の糧となり、友人や仲間は大切な宝物となることでしょう。それぞれの夢に向かって力強く歩んでいってください。

最後になりましたが、三年間ご指導いただいた教職員の皆様には心より感謝申し上げます。今後のご活躍とご健康をお祈り申し上げます。

今年度のP T A 活動を振り返って

生徒指導部専門委員長 上田由美

甲府昭和高校に息子がお世話になって、早二年。少しでもお役に立てるなと思い、P T A の役員をお引き受けさせて頂きました。

生徒指導部の主な活動は、朝の交通安全指導と紫映祭校内巡視です。朝の交通安全指導は、5月1月(8月を除く、計八回)のマナーアップ運動時に、先生、生徒、保護者と連携し、学校周辺の横断歩道による安全指導を行います。時間帯は、朝8時から20分程、通学・通勤ラッシュ時でありましたが、歩行者を優先する車、バイク、自転車の運転者がそれぞれ譲り合う光景があり、スムーズに対応ができました。改めて、それぞれ運転者の譲り合いの心がけが大切と感じました。

次に、6月に開催された紫映祭(一般公開日)校舎内巡視です。例年約2千名を超える来場者に伴い、トラブルが発生しないように校舎内の巡視をします。巡視の際には、生徒が一丸となって作り上げた展示品やクラスごとに企画した商品を元気づけ販売する姿を間近でみることができ、思い出に残る一日となりました。

そして、生徒指導部の委員長は、南甲府警察署から山梨県警察ボランティア(少年補導員)に委嘱されます。主な活動は、7月に開催された講演会に参加。8月には、地区の少年補導員が中心となって子供達が非行や犯罪に巻き込まれないように夜、警察署員の方と一緒にイオンモール内を巡回しました。例年、学校や地域の協力関係者によって、子供達が守られていることを知りました。

子供の高校生活最後の一年、P T A の役員を通じて、保護者の方と交流が深まったこと、子供と共通の行事に携わることにより、コミュニケーションも図れ、有意義な時間を過ごすことができ、感謝しています。

最後に、初めての専門役員の為、不慣れな部分があったと思いますが、先生方や役員の皆様に支えられ、無事に活動する事が出来ました。ご指導、ご協力、本当に有難うございました。これからの皆様のご活躍をお祈り致します。

皆の笑顔に心癒やされて

保健体育部専門委員長 田中はる子

体育専門部の主は活動は、強歩大会の運営でした。保護者の方々のお手伝いの募集から始まり、専門部での会合、そして救急救命の講習会と大会当日の役割分担の打ち合わせ説明会を当日の大会を迎えるという形でした。

今年の強歩大会開催を迎えるに当たり、大会間近に関東地方が大型の台風に見舞われてしまい、その後の専門部会でも、もしかしたら中止になるかもしれないという話も出ました。安全確保が出来る万全な実施を目指して、国土交通省とも相談した結果、男女共に、例年とはコースを変更して、安全の確認が取れている13キロに短縮した距離で実施することになりました。

私は、三年間強歩大会のお手伝いに参加していますが、今年は距離が短くなったこともありですが、例年以上に生徒達が皆、笑顔で走っているという印象を持ちました。学校のイベントを楽しんで活動している姿はとても微笑ましく、見ている保護者である私たちの元気を与えてくれました。信号待ちなどの場合においても、自動車の方々の迷惑にならないように、生徒自身が配慮してくれました。

決して13キロを走ることは楽なことではないですが、生徒達は手伝いをしている私達に笑顔で接してくれて、活動に参加していることを幸せに思い、貴重な時間を共有出来たこと、経験出来たことに感謝の気持ちでいっぱいです。

今回の強歩大会を通し、生徒達の笑顔に癒やされ、私にとって良い経験をさせていただきありがとうございました。また、ご協力いただいた保護者の皆様方、関係各位の皆様方がとうございました。

PTA活動

総務

一年間の活動報告

主任 千野満広

令和元年度のPTA活動として「フードバンク食品回収を実施し、7月の関東高校PTA埼玉大会に望月PTA副会長と今福教頭が出席をしました。また、学園祭（紫映祭）では、役員の方を中心に、出店（PTA喫茶店）を行い、蕎麦弁当を販売しました。8月の全国高校PTA京都大会には、越石PTA会長と萩原校長が出席をしました。10月の学校公開では、

路専門部は6月に進路講演会を実施しました。保健体育専門部は10月に、強歩大会に備えての心肺蘇生法の講習会を実施しました。本番の大会では、多くの保護者の方々の交通指導などのご協力をありがとうございました。生徒指導専門部では、年間数回の登校時交通指導を行っていただきました。



PTA 総会



授業参観



強歩大会保護者説明会



フードバンク食品受付



学年部会総会



越石会長が強歩大会で激励



フードバンク食品仕分け作業



学級懇談会

令和元年度 PTA 年間事業

- 4月 6日 入学式・新入生保護者会
- 8日 PTA学級委員選挙
- 18日 PTA各学年部会委員会・専門委員会・役員会
- 27日 公開授業・PTA学年部会総会・PTA総会・PTA学級懇談会
- 5月 14日 県高P連第1回理事会
- 18日 県高P連定期総会
- 6月 5日 PTA専門委員会（進路）、進路講演会（3年保護者対象）
- 27～29日 甲府昭和高校紫映祭 29日：一般公開日
- 7月 12～13日 第65回関東高P連大会（埼玉県）

7月 22～25日

三者懇談（1・2・3年生）

8月 21～23日

第69回全国高P連大会（京都府）

9月 18日 PTA専門委員会（保体）（強歩大会関係）

10月 15日 公開授業（授業参観）フードバンク食品回収

30日 校内強歩大会

12月 中旬 三者懇談（3年生 各クラス随時）

1月 24～28日

三者懇談（1・2年生）

2月 20日 PTA学年監査（3年）、学年部会委員会（3年）

3月 1日 第34回卒業証書授与式、PTA第3学年部会総会

16日 PTA学年監査（1・2年）、学年部会委員会（1・2年）

年間数回 登校時交通指導（生徒指導専門部）